



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場会社名 ワタベウェディング株式会社
 コード番号 4696 URL <http://www.watabe-wedding.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡部 秀敏
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 吉澤 康
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月2日 配当支払開始予定日 平成23年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

上場取引所 東大

TEL 075-352-4111

平成23年12月1日

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	22,296	△7.6	△541	—	△492	—	△532	—
23年3月期第2四半期	24,137	△3.0	150	△29.7	33	△87.0	△173	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △672百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △434百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△53.71	—
23年3月期第2四半期	△17.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本	%
24年3月期第2四半期	24,479		13,702		13,695	55.9
23年3月期	25,075		14,523		14,518	57.9

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 13,695百万円 23年3月期 14,518百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
24年3月期	—	15.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,400	△0.3	1,200	△13.4	1,200	△10.8	460	160.4	46.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	9,909,400 株	23年3月期	9,909,400 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	309 株	23年3月期	309 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	9,909,091 株	23年3月期2Q	9,909,172 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。これらに関する事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は平成23年11月9日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における経営成績は、以下のとおりであります。

「リゾート挙式」におきましては、軽微ながらも、東日本大震災の影響を受け、挙式取扱組数は減少したものの、高品質のサービスを提供する米国ハワイ州の「ホヌカイヤニ コオリナ・プレイス・オブ・ウェリナ」の効果により、一組当たりの婚礼単価が上昇いたしました。さらにお客様がリゾートの雰囲気を楽しみながら、挙式の準備をすすめて頂けることをコンセプトに「大宮店」を「大宮ソニックシティ店」として移転・リニューアルし、お客様満足度の向上に取り組んでまいりました。今後の需要拡大を目指して、平成23年9月には、グアム、沖縄の人気チャペル「ブルーアステール」と「アクアグレイス・チャペル」をリニューアルオープンしました。またアジアマーケットでの拡大を目指し、平成23年4月に、シンガポールの文化遺産施設である大聖堂「チャイムス・ホール」を利用して、婚礼施設として運営を開始し、海外でのローカル挙式を強化しております。

「ホテル・国内挙式」におきましては、平成23年5月に「目黒雅叙園」では初となる独立型のチャペル「ヴィラディ グラツィア」をオープンし、感謝の気持ちを伝える演出を多彩に取り入れた絆をテーマにした新しい結婚式を提案しております。また、「メルパルク名古屋」のガーデンチャペルや「メルパルク横浜」のロビーを改修するなど、感動をお届けする空間を創造すべく取り組んでまいりました。しかし、東日本大震災の影響は続いており、婚礼、宴会の実行件数が前年同四半期に比べて減少いたしました。

以上の結果、当社グループの業績は、挙式取扱組数の減少により、売上高22,296百万円（前年同四半期比7.6%減）、営業損失541百万円（前年同四半期 営業利益150百万円）、経常損失492百万円（同 経常利益33百万円）、四半期純損失532百万円（同 四半期純損失173百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、以下の数値は、セグメント間の取引消去後となっております。

① リゾート挙式

「ホテル・国内挙式」に比べて、東日本大震災の影響は少ないものの、挙式取扱組数が減少したため、売上高は9,805百万円（前年同四半期比5.9%減）、販売管理費の削減に取り組みましたが、営業利益は107百万円（同73.7%減）となりました。

② ホテル・国内挙式

東日本大震災の影響は、薄らいできているものの、それによる婚礼、宴会、宿泊キャンセル・延期を受けた結果、売上高は、12,491百万円（同8.9%減）となり、販売管理費の削減に努めましたが、営業損失は655百万円（前年同四半期 営業損失235百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況について

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ144百万円減少し、8,891百万円となりました。これは主に現金及び預金が減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ451百万円減少し、15,588百万円となりました。これは主に有形固定資産と差入保証金が減少したことによるものであります。この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ595百万円減少し、24,479百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ126百万円増加し、7,885百万円となりました。これは主に前受金の増加によるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ99百万円増加し、2,892百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ225百万円増加し、10,777百万円となりました。

純資産残高は前連結会計年度末に比べ820百万円減少し、13,702百万円となりました。これは四半期純損失532百万円や配当金148百万円の支払による利益剰余金の減少680百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点におきましては、平成23年5月9日発表の業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,028	4,567
売掛金	1,504	1,650
商品及び製品	237	244
仕掛品	32	33
原材料及び貯蔵品	596	620
その他	1,667	1,809
貸倒引当金	△31	△33
流動資産合計	9,035	8,891
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,961	5,902
土地	2,603	2,599
その他（純額）	2,023	1,942
有形固定資産合計	10,588	10,445
無形固定資産		
投資その他の資産	973	921
差入保証金	3,476	3,318
その他	1,039	941
貸倒引当金	△38	△38
投資その他の資産合計	4,477	4,222
固定資産合計	16,039	15,588
資産合計	25,075	24,479
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,501	1,589
短期借入金	850	917
前受金	2,335	2,808
賞与引当金	573	444
その他	2,498	2,125
流動負債合計	7,759	7,885
固定負債		
長期借入金	1,500	1,450
退職給付引当金	188	328
資産除去債務	542	561
その他	561	551
固定負債合計	2,793	2,892
負債合計	10,552	10,777

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,176	4,176
資本剰余金	4,038	4,038
利益剰余金	7,757	7,077
自己株式	△0	△0
株主資本合計	15,971	15,291
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13	11
繰延ヘッジ損益	4	△53
土地再評価差額金	△906	△906
為替換算調整勘定	△565	△648
その他の包括利益累計額合計	△1,453	△1,596
少数株主持分	4	7
純資産合計	14,523	13,702
負債純資産合計	25,075	24,479

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	24,137	22,296
売上原価	8,203	7,375
売上総利益	15,934	14,921
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	5,256	5,195
賞与引当金繰入額	253	319
退職給付費用	68	109
賃借料	3,214	3,110
その他	6,990	6,728
販売費及び一般管理費合計	15,783	15,462
営業利益又は営業損失(△)	150	△541
営業外収益		
受取賃貸料	35	28
受取補償金	32	32
その他	54	75
営業外収益合計	122	137
営業外費用		
支払利息	13	12
開業費	58	—
為替差損	118	28
支払手数料	20	20
その他	28	26
営業外費用合計	239	88
経常利益又は経常損失(△)	33	△492
特別利益		
固定資産売却益	162	—
投資有価証券売却益	—	70
特別利益合計	162	70
特別損失		
災害による損失	—	127
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	392	—
適格退職年金終了損	—	139
その他	101	43
特別損失合計	493	311
税金等調整前四半期純損失(△)	△297	△733
法人税等	△122	△204
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△175	△529
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1	3
四半期純損失(△)	△173	△532

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△175	△529
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	△1
繰延ヘッジ損益	△67	△57
為替換算調整勘定	△179	△80
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△2
その他の包括利益合計	△258	△143
四半期包括利益	△434	△672
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△432	△674
少数株主に係る四半期包括利益	△2	2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△297	△733
減価償却費	911	939
賞与引当金の増減額(△は減少)	△266	△129
受取利息及び受取配当金	△10	△9
支払利息	13	12
為替差損益(△は益)	△7	28
売上債権の増減額(△は増加)	154	△145
たな卸資産の増減額(△は増加)	△78	△30
仕入債務の増減額(△は減少)	△159	95
前受金の増減額(△は減少)	451	488
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	392	—
その他	△496	129
小計	608	646
利息及び配当金の受取額	6	11
利息の支払額	△13	△13
法人税等の支払額	△537	△325
営業活動によるキャッシュ・フロー	63	319
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△375	—
有形固定資産の取得による支出	△1,166	△711
有形固定資産の売却による収入	996	7
無形固定資産の取得による支出	△152	△85
投資有価証券の売却による収入	—	120
差入保証金の差入による支出	△105	△64
差入保証金の回収による収入	172	205
その他	15	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△615	△540
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	83
長期借入れによる収入	500	200
長期借入金の返済による支出	△176	△266
配当金の支払額	△148	△148
その他	△23	△35
財務活動によるキャッシュ・フロー	150	△167
現金及び現金同等物に係る換算差額	△87	△72
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△488	△460
現金及び現金同等物の期首残高	4,237	5,024
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,749	4,563

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リゾート挙式	ホテル・国内 挙式			
売上高					
外部顧客への売上高	10,423	13,714	24,137	—	24,137
セグメント間の内部売上 高又は振替高	3,355	93	3,448	(3,448)	—
計	13,778	13,807	27,586	(3,448)	24,137
セグメント利益又は損失(△)	410	△235	174	(24)	150

(注) 1. セグメント利益の調整額△24百万円には、セグメント間取引消去 7百万円、棚卸資産等の調整額△31百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リゾート挙式	ホテル・国内 挙式			
売上高					
外部顧客への売上高	9,805	12,491	22,296	—	22,296
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,917	107	3,024	(3,024)	—
計	12,722	12,599	25,321	(3,024)	22,296
セグメント利益又は損失(△)	107	△655	△548	6	△541

(注) 1. セグメント利益の調整額6百万円には、セグメント間取引消去 7百万円、棚卸資産等の調整額△0百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象
該当事項はありません。